



伸びやかな風景に
とけ込む歴史の道

とよたほたるかいどう

豊田ほたる街道

平成20年度認定 / 山口県下関市 / 豊田地域づくり協議会

人、もの、歴史をつなぐ街道。夢をつないでもっと広がれ。

「日本風景街道」に登録された山口県西部は、日本海、響灘、瀬戸内海と三方を海に開かれ、赤間関街道や肥中街道、長府街道などがいくつも交差する「風波のクロスロード」です。豊田は古くから市が立ち、室町時代に大内氏の大陸貿易港・肥中浦と山口を結ぶ「肥中街道」が開かれるとなれば、江戸時代になると、萩と赤間

関（下関市）を結ぶ「赤間関街道北道筋」が交差し、ますます交通の要衝として栄えました。赤間関街道沿いに、長府藩や幕府の要人を迎えた西市本陣の御成門が残っています。

楨原の妙栄寺は、室町時代大内氏の家臣朝倉（陶）弘詮の母の菩提寺として建てられ、後に雪舟や細川幽斎も立ち寄ったとか。



城戸にある平安・鎌倉時代の
関所跡

町中に
ホタルが乱舞する
街道の交差点。



妙栄寺



旧殿居郵便局

苔の美しい雪舟庭や芭蕉句碑もあります。肥中街道沿いに残る街道の鎮守や朝倉氏の館跡、山城跡等が往時を物語ります。小1時間歩くと、国道脇に“右たきべ道凡四里左くるそん山へ凡三里”飛松道標と記された「飛松道標」が立っています。

豊田町はゲンジボタル（国の天然記念物）で知られた町でもあります。6月にはホタルが町中に乱舞し、まさに「螢街道」に。全国にも例を見ない「ホタル舟」も出ます。



「豊田ホタルの里ミュージアム」ではホタルの生態を一年中学ぶことができます。

豊田の繁栄は、「長門鉄道」（小月・西市間 18km、駅数 10）の歴史からもうかがえます。「西市」は大正 7 年に開通した長門鉄道の始発駅、昭和 31 年に廃業するまで現在の梨選果場の場所にありました。動輪が図書館のそばに保存されています。

また、粟野川沿いの殿居地区には、大正時代の「旧殿居郵便局」（県指定有形文化財）が残されています。8 角形の塔屋に風見鶏のついた何ともレトロな洋風建築。これも、街道がつないだ歴史のお宝です。

歴史街道の力 楠原ゆうあい会事務局長 柴田 俊彦



室町時代、大内氏の繁栄を支えた肥中街道が復元されて 10余年が経ちました。木陰があつて何とも風情のある土の道です。街道沿いに標識が設置され、花木も植えられました。毎年 3 月の第 2 日曜日は街道整備の日。地域の人々やボランティアが集います。街道の周辺には室町時代に創建された妙栄寺や諏訪神社、諏訪山城趾、館跡などがあり歴史探訪やウォーキングなどの人が訪れてています。地域は今、歴史街道や里山を活かして「自然と歴史の学びの郷」づくりが手作りで進められています。



ぶらり歩いてみよう

豊田湖

木屋川のゲンジボタル

長正司公園の大藤棚

豊田ホタルの里ミュージアム

館ヶ浴の椿

妙栄寺

木屋川流域のゲンジボタルは国の天然記念物「木屋川のゲンジボタル」として登録されています。ホタル舟乗船場もあります。

境内はきれいに手入れされており、一面むした苔はある庭園のようです。歴史講座などの地元活動にも利用されています。

豊田町の天然記念物に指定されています。樹齢はおよそ600年以上と推定されています。

みんなが集まる 交流施設

イベント・活動

梨の花ウォーク in とよた

肥中街道再整備の様子

倒木等で今まで通行できなかった「肥中街道」を復元し、歩けるようにしました。10キロコース・20キロコースのいずれかを選択し、豊田の自然の中を歴史に思いを馳せながら気持ちよく歩きます。途中、地元ボランティアの方々があん餅やぜんざい、お茶などを振る舞います。

街道沿いに花を

野菜市

西ノ市温泉「螢の湯」

オススメ周辺情報

- 一の俣温泉郷
- 修禅寺
- 近松門左衛門生誕の地